



# 2年学年だより

発行日：令和4年1月31日（月）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 9

## 新年の目標について

校長代理 富樫 哲一

新型コロナウイルス感染症は未だ終息が見通せない中ですが、新しい年を迎え一か月が過ぎました。授業の様子を見に行くと、各教室に冬休みの課題である書き初めが展示されています。1年生は「新たな決意」、2年生は「夢を信じる」、3年生は「友好の精神」という新年を迎えるのにふさわしい題材です。

この時期は、多くの人が気持ちも新たに新年の目標を設定することが多いのではないのでしょうか。今回、教室に展示されている書き初めは、あらかじめ題材が決められていましたが、本来ならば、それぞれが違った新年の目標、夢、決意について書き初めで表現し、残しておくのが適当なのかもしれません。

夢やそれに至るまでの目標を実現させるためにはそれに見合った努力が必要です。大きな夢や高い目標になればなるほど必要な努力も大きくなります。しかし、夢を実現させるためのこうした努力は皆さんの成長や飛躍に良い影響を与えることは間違いありません。

ここで皆さんに聞きたいことがあります。一年前の今頃、おそらく今年と同じように描いた夢や目標の実現状況はどうですか。夢や目標を立てたら、それが実現できたのかどうか、仮に実現できなかったとしても、どこまで自分はたどり着けたのか、またその夢や目標に向けて自分が1年間どのような努力を積み重ねてきたかを振り返ることは、とても意義あることだと思います。

振り返る際に心に留めておいてほしいことが一つあります。それは、夢や目標を実現できなかったとしても、さらに言えば、そのために自分が納得できるような努力ができなかったとしても、自分を責めないでほしいということです。

まだ10代の皆さんにとっては、夢や目標をもつこと、それだけで十分価値があることだと思います。それは皆さんが夢や目標について考えた時間は、自分や自分の今後の人生と向き合い、何らかの方向性を見出したものだからです。さらに、もし、その夢や目標のためにほんの少しでも努力できたのならば、自分を大いに褒めて、認めてあげてください。これからの人生も、「夢や目標を見つけ、その達成に向けて努力する」ことの繰り返しです。その繰り返しの中で、たとえ少しでも努力できた自分の価値を認めることを重ねていくことは、たとえ成功体験につながらなかったとしても、今後、皆さんが豊かな人生を送る源となることでしょう。

さて、今年の皆さんの夢や目標、決意したことはありますか。もし既に決まっているのであれば、頭に思い浮かべておくだけでなく、ノートに書くなど是非、文字に残して時々確認してみてください。新たに書き初めをするほど時間をかけなくても構いませんよ！

## EGG 講座「情報のタネの見つけ方」

1月13日(木)に、日本テレビの協力のもと EGG 講座『情報のタネの見つけ方』を行いました。講座は STEP1「こんなものを見つけてみる」→STEP 2「調べ方のコツ」と展開した後、実際のテレビ番組を見ながら、その番組を制作した方のお話を聞きました。「いかに調べられるか」が番組を左右し、それには自分の足を運んで第一次資料を集めることが力説されていました。調べながら、着眼点の変更もありですし、最後伝える際には情報を絞って、粘って、「わかりやすく」伝えることにこだわることを教えていただきました。



たくさん示唆に富んだこの講座を咀嚼し、現在取り組んでいる EGG ゼミ第Ⅲ期ミニ論文や、来年度の卒業研究に生かしていきましょう。講座後のみなさんの感想の一部を紹介します。

1 組: 面白い番組はテーマがすべてだと思っていたけれど、いかに「調べられるか」が重要なのだと知って驚いた。インターネットばかりに頼ってしまうけれど、「アナログにこそ掘り出し物あり」ということを滝谷さんや小西さんの番組作りを見て実感できた。

1 組: 特に「総論ではなく各論で攻めろ」というのは意外で印象に残った。確かに大きなテーマだと自分にしかわからないかもしれないので、伝えたいことは残しておきつつ、色々な切り口やアイデアで小テーマから伝えたいことにつなげるのが大切だと思った。来年度の論文は今回教えてもらったことをいかしていきたい。

2 組: 今回学んだことで、今後活かそうだなと一番思ったことは、多様な着眼を持つということだ。これからミニ論文を書いていくうえで一つの立場から書くのではなく、様々な立場になって考えてみることをしてみようと思う。そうすればより面白く、よりわかりやすいミニ論文が作れるはずだ。

2 組: テレビの番組を考えると、身の回りからアイデアを集めてひたすら調べて実現に持っていくという話を聞き、行動力の高さに驚きました。アナログにこそ掘り出しものあり。つついインターネットで済ませてしまうけれど、実物や本人、携わっている人に直接会って一次資料を多く集めることも大切だと思いました。

3 組: あらためて、人に何かを伝えたり、発表したりするうえで、聞く人を引きつけることが大事なのだと感じた。また、今まで私はテーマを選ぶ際に、ただ「面白そう」という基準だけで決めてしまっていたと思う。面白いことも大事だが、そこからどのように話を発展させていくかや、何を伝えるのかが大事だと知った。

3 組: 調べながら着眼点を変えてもいい、というのが自分にとってとても斬新だった。私は最初に思いついたことをもとに新たな着眼点を手に入れるということを心がけたいと思った。

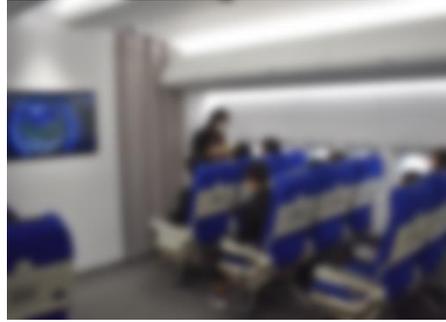
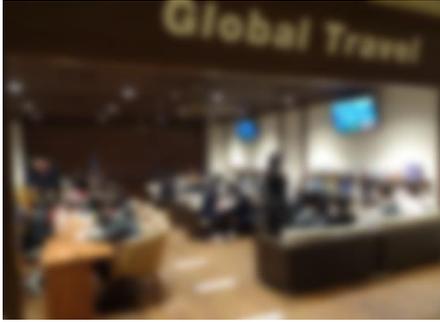
4 組: 不思議に思ったことをテーマにするという、ということを実際に活用してみたいと思いました。私はテーマを考えるのが苦手で、でも人とかぶりたくないと思っていたので、教えてもらったことを意識して、論文やそれ以外でも個性的な面白い題材を考えていきたいです。

4 組: 実際にプロの方がどのように考え、働いているのかを 5 人もの先生に話を聞くことができ勉強になった。グループでの話し合いでは、どのような番組だったら面白いか意見を出し合うことができたと思う。

## 英語集中研修@TGGに行ってきました！

1月15日(土)に8月から延期された英語集中研修を、東京グローバルゲートウェイ(TGG)で行いました。12月のイングリッシュキャンプで英語によるコミュニケーションにたくさんチャレンジしましたが、中にはうまくいかなかったこともありました。そんなインキャンの経験の延長戦に、TGGでのチャレンジがスタートしました。

どこか外国の街に迷い込んだようなエアポートゾーン、ホテルゾーン、トラベルゾーンがあり、それぞれのシチュエーションで、インストラクターさんからの色々なミッションに挑戦しました。途中のクラスタイムでは、インキャンで経験した英語による“人狼ゲーム”を、自分たちの力で切り盛りしながら楽しむこともできました。



**1組:** 日本人と外国の人の違いも感じることができました。外国の人は、自分の意見をはっきりと求めてきました。好きな教科は？将来なりたいものは？など、まだ考えているものでも、少しずつ意見を言うことも大事だと本当によくわかりました。

**1組:** 難しい単語を知らなくても会話でのコミュニケーションであれば、ジェスチャーを使ったりすることで大体の自分の意見を伝えることができると気づいた。イングリッシュキャンプでは「こんなのできない」とか「難しそう」とか時々心がネガティブになってしまったが、今回は前向きなポジティブな心で、どのミッションも楽しく取り組めた。

**2組:** 実際に外国へ行った時に使えそうなフレーズを沢山学びました。また、日本と外国とで違うことは、アイコンタクトと挨拶がとても大切ということです。アイコンタクトや挨拶は単純なことだけれど、コミュニケーションの土台となることだと思うので、これからもしていきたいです。

**2組:** 一番自分が学べたと思ったのは、コミュニケーション力だ。質問の意味や答え方がわからなくても英語を頑張って使いたい。今回は実際にありそうな場面や場所などを想定して英語を話したため、より意識的に話すことができた。単語がわからなくても、意味をあまり変えずに他の表現で言う努力をしていけばいいと思った。

**3組:** ペアと意見を交流する場面やインストラクターの方に質問する機会が山ほどあり、自ずと英語を使うことがたくさんできました。自分のことを相手に話し、会話をし、伝わるという流れができ、自分の思いを伝えられたときはとてつもなく嬉しくなりました。英語でも日本語でも「とにかく話そうとする、伝えようとする、言葉にする」ことが大切であると新たに気づけました。TGG後半には「伝わるまで話してやる」精神が誕生しました。

**3組:** 午前中の活動で「もう一度聞きたい時のお願いの仕方」など、午後の活動に使える英語を学べたことがよかったと思う。インキャンの時は聞き返し方を知らなかったの、何となく相づちを打っていた。今回は習った後に、その先生にその言い方で質問をしたら「Great!!」と言われて、とてもうれしかった。

4組: 自身の知らない単語の多さとともに、自分が知っている単語の多さにも気づけて、これからの目標がなんとなく見えてきた気がしました。まだまだ未熟で英語がペラペラな人には程遠いけれど、少しずつ英語が身についてきていると感じられて、少しだけ自信が持てました。今回の研修で英語を教えてくれた友だちのように、今度は自分が教えてあげられるように、授業や自主勉強を頑張ります！

4組: 昼に行った人狼ゲームでは、インキャンの時から自分の英語力の成長を感じることができた。インキャンではどのアクティビティでも、生徒同士になった時について日本語を使ってしまったが、今回の人狼ゲームでは、話し合いも英語ですることができた。教材のリピートではなく、自分で考えたことを話すアウトプットに少しずつ慣れてきているのだと思う。

## 校内書き初め大会が行われました

校内書き初め大会が、3学期の初日1月7日から行われました。毎年作品は国語の授業で掲示しています。作品に裏打ちをすること、教室や廊下の壁に養生テープを貼ること、高い所に美しく頑丈に貼ること、出席番号順に並べること…など限られた時間内にやることは盛りだくさん。各自が確実に作業すること、円滑に進行するよう全体を見渡した声とが必要です。その動きはクラスごとに特徴を見せながら、全体として昨年度よりも機動的に成長していました。

今年度は行書に挑戦しました。字形の変化や、点画の連続を理解しながら美しく速く書くことを学びました。字は人を表すと言われます。太く、大きく、やわらかく、芯の通った9期生の姿を夢見て…、その夢を信じています。



- 金賞のみなさんです！
- 1組 [redacted] さん
  - 2組 [redacted] さん
  - 3組 [redacted] さん
  - 4組 [redacted] さん
  - [redacted] さん
  - [redacted] さん
  - [redacted] さん
  - [redacted] さん

### 睦月の福袋

2月に入ると適性検査休業日があります。9期生も2年前を思い出すかな？憧れていた中学校生活もあと1年です。初心を忘れず、冬の間をしっかり深く根を伸ばそう。花は深い根っこがあってこそ。